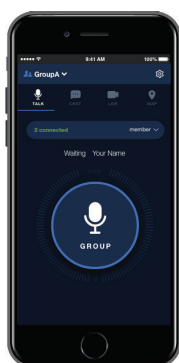


IP無線を導入して良かったこと

“MCA無線以上の機能を アプリで手軽に実現。”

物流・運送

配送・BCP



通信エリアの関係で無線が導入できなかった事業所もありましたが、MCA無線からの切り替えで全事業所にIP無線の導入ができたことは大きなメリットです。スマホを既に携帯している場合、アプリのインストールのみで利用できるという手軽さは魅力だと思います。

また、緊急災害時にも電話が混線する中、通常通りに応答ができ、迅速な対応ができるということは、当社へ委託されるお客様にとっても安心材料の一つになっています。





導入前の不満

当社ではMCA無線を導入しておりましたが、通話エリアが狭く、遠方ではなかなか無線が届かないことがありました。

通信エリアが限定されていたことにより導入できない事業所があったことや、MCA無線が車両に固定されていたため、応答が車両内に限定されていたことが不満でした。

導入した経緯

各車両にMCA無線を設置していましたが、無線もスマホへ統一し、ランニングコストを削減したいと思い本製品を採用しました。同時に、配車マッチングシステム「iGOQ(イゴーク)」を導入し、動態管理も行っております。Buddycomは、MCA無線のように機材の設置や取り外しなどがなく、スマホを持ち運んで簡単に使用できるところも採用要因の一つです。



緊急時でも、車両の位置情報の管理とドライバーと運行管理者の情報がリアルタイム共有。

「出庫時、到着時、待機時、終了時の情報共有に利用」

Buddycomだからできたこと

端末を持ち運べることで行動に制限がなくなり、ドライバーも管理側も、応答のためにその場に張り付く必要がなくなりました。

導入検討中の方へのメッセージ

他社の現状の状況にもよりますが、災害時にはすばらしい力を発揮します。また、PTTボタン付きの周辺機器は用意した方が運用しやすいです。

全車両用に1台ずつ、ドライバーにBuddycomをインストールしたスマホを持たせており、毎日、南大沢のセットセンターでセットされた荷物を、東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、福島、静岡、山梨、新潟、全61の管理センターへ配送しています。

私達は社会から「道路」という仕事を借りて業務をさせて頂いているという気持ちから、事故を起こさないことが義務であると考えており、出庫時の安全宣言にBuddycomを活用しています。

また、目的地到着時や業務終了時に、ドライバーと管理側で情報を共有したり、各センターへの到着時には、納品時間をコントロールするための待機連絡にも使用しています。



株式会社サイエンスアーツ

WEB: www.science-arts.com

Service: www.buddycom.net

お問い合わせ: info@science-arts.com

